

議 事 録(概 要)

会議名	令和４年度 第３回守山市生涯歯科保健推進協議会
開催日時	令和５年１月３０日（月）午後１時３０分から午後３時まで
開催場所	市役所東棟３階 大会議室
委員出席者	岡本会長、松川委員、今井委員、高田委員、林委員、戸梶委員、 兼松委員 （１０名中７名出席） 欠席：吉田委員、胡井委員、野々村委員
事務局	健康福祉部 沖田理事 すこやか生活課 森口課長、川中参事、金沢係長、岩波主任、 清水歯科衛生士、中野歯科衛生士 在宅医療・介護連携サポートセンター 浦西主査
傍聴者	なし
会議次第	１ 開 会 ２ 報告事項 （１）在宅歯科保健に関するアンケート調査の結果について ３ 協議事項 （１）守山市生涯歯科保健計画最終評価報告書（案）について （２）令和４年度の取組結果と令和５年度の取組予定について
会議資料	・令和４年度生涯歯科保健推進協議会委員名簿 ・守山市生涯歯科保健推進協議会設置要綱 資料１： 在宅歯科保健に関するアンケート結果 資料２： 守山市生涯歯科保健計画 最終評価報告書（案） 資料３： 令和４年度歯科保健事業の取組結果（進捗状況） について 資料４： 令和５年度歯科保健事業の取組（案）について 参考資料１：令和５年度 歯科保健推進スケジュール 参考資料２：次期歯科保健計画 計画策定スケジュール 参考資料３：歯周病リスクチェック検査 実施後アンケート結果 （２回分まとめ） 参考資料４：令和４年度 中学期歯科健康教育アンケート （結果）

1 開 会

2 報告事項

(1) 在宅歯科保健に関するアンケート調査の結果について

事務局	資料 1 に基づき説明
松川委員	在宅歯科は在宅医療に比べて知られていないので、何回も周知をする必要がある。 在宅歯科医療を必要としている人（需要）と在宅歯科診療を行う歯科医院（供給）のバランスはとれているのか。
事務局	介護認定を受ける人は年々増加傾向であり、需要は増えている。供給としては、申し込んでも断られたことがある人もいるので、足りない印象はある。そのため、充実させていかないといけないと考えている。
岡本会長	在宅連携室は 4 市のコアメンバーで実施している。コアメンバーを増やすことが必要。在宅専門医を増やすというより、在宅もできる医師を増やしていきたいと思っている。
兼松委員	最終評価報告書（案）17 ページで、目標が 95%とあるか、目標設定が相当な数であるので、達成できていないことは悲観することはない。今後、増やしていけば良い。 最終評価報告書（案）15 ページで、在宅歯科保健に関するアンケート調査での結果では、「使っていない」という表現も必要ではないか。 最終評価報告書（案）20 ページにアセスメント表が掲載されている。今日、相談があった人の例では、アセスメント表を用いずとも、ケアマネジャーが口腔アセスメントを実施していた。最近では「歯医者さんに行っていますか。」「口の中で痛いところはないですか。」を確認している。 アセスメント表を使う・使わないはケアマネジャーらに判断してもらいつつ、アセスメント表の認知度を高めていくことは必要だと思う。

3 協議事項

(1) 守山市生涯歯科保健計画最終評価報告書（案）について

事務局	資料 2 に基づき説明
-----	-------------

岡本会長	46 ページの後継計画の策定の考え方（概念図）を軸に意見はそれぞれの分野において伺いたい。
高田委員	フッ素のおかげで、むし歯は少なくなっている。家庭内での歯科指導も重要であることから、保護者の指導も大事と考える。
岡本会長	その通りである。 守山市はフッ化物洗口を小学6年生まで実施している。印象としては、7番（12歳頃に生えてくる「第2大臼歯」）のむし歯が多いため、中学校までフッ化物洗口をしたい思いもある。 様々なハードルはあると思うが、子どものむし歯をなくすために検討していただきたい。
事務局	中学校での導入は難しいと感じている。むし歯予防の対策として、定期的な歯科医院への通院や幼児へのフッ素塗布と同様に中学生へのフッ素塗布も可能であるなら、その点も含めて歯科受診啓発を行いたい。
岡本会長	中学校でのフッ化物洗口が難しいのであれば、3か月から半年に1回程度のペースで定期的に歯科医院で濃度の高いフッ化物塗布を行い、むし歯予防をすることが可能。しかし、受けない子と受けた子では差ができてしまう。保護者への啓発が重要と考える。
岡本会長	子どもの歯科口腔保健について意見を伺いたい。
林委員	週2回のフッ化物洗口をしており、効果を感じている。中学校のフッ化物洗口について、小学校までの効果が中学校も継続しているという実績があるのであれば、中学校でもフッ化物洗口すると良いと思う。 守山市の歯科保健の取組は、他市や県と比較し進んでいるのかを教えてほしい。
事務局	歯科保健計画、歯科単独の会議体を持っている所は少ない。また、歯科衛生士が常勤でいる市町も少ない。
岡本会長	守山市は手厚く、多くの取組をしていると思っている。歯科医師会としては湖南4市を引き上げる取組を実施しているところである。
岡本会長	障害福祉について意見を伺いたい。

戸梶委員	障害者施設には通所施設と入所施設があるが、いずれも口腔ケアの重要性の認識度はあがっている。保護者への呼びかけや、歯科医院への受診を促しているところ。 障害者に対してもフッ化物洗口が効果的であれば、取り入れることはできるか。
岡本会長	フッ化物洗口は、ぶくぶく嗽ができることが前提である。個人差があると思うが、嗽ができれば可能である。 フッ素塗布は歯科医師または歯科衛生士が実施することは可能である。生えたての乳歯・永久歯に特に効果的というのはあるが、大人でもフッ化物塗布は効果がある。
戸梶委員	具体的なむし歯予防の方法に悩んでいる施設に、会議等で紹介したいと思っている。
岡本会長	歯科衛生士会から、定期的な歯科健診、ブラッシング等についてご意見があれば伺いたい。
今井委員	障害者施設に巡回歯科健診で行った際に歯科受診勧告をすると「どこに行ったらいいのか」と尋ねられることが多い。「障害者なら」「車いす対応なら」とリストは渡すが、対象者の状況や希望によっては具体的にどこを案内していいのか困る時がある。歯科衛生士会での情報によると、他市では、詳しい冊子があると聞いている。湖南4市でも、歯科医院の様子がよく分かり、お勧め歯科医院を紹介した冊子があれば良いのだが。 また、資料2の37ページに「障害者通所施設における定期的な歯科健診実施施設の割合」の達成率が5割に満たないとなっている。頻繁に施設に歯科健診で巡回しているのでもっと達成していると思っていたが、何件くらいの施設があるのか。
戸梶委員	コラボにこここ歯科保健事業に参加しているのは32施設ほどあり、参加していない施設はその倍以上ある。コラボにこここ歯科保健事業への参加勧誘は会議で毎年実施している。 通所事業所における歯科健診（滋賀県歯科医師会が主導）についても新型コロナウイルス感染症の影響で実施を控えている施設があり、令和元年度よりも減っている状況。 通所事業所での歯科健診とコラボにこここ歯科保健事業に参加している所はイコールではない。歯科健診だけを県から実施してもらっている施設もある。

岡本会長	バリアフリーの歯科医院はどこにあるのか、といった情報が記載されている冊子はあるのか。
事務局	歯科医師会のホームページからダウンロードした一覧があり、そこに障害者対応（知的・精神・身体等）の一覧もあるので、問い合わせがあれば参考にしている。 また、在宅医療・介護連携サポートセンターでは、地域医療介護マップを作成しており、歯科医院の情報も掲載をしている。今後もニーズに合わせたマップ作りを実施していきたい。
松川委員	高齢者の車いす対応の歯科医院は分かるが、自閉症の子が通える歯科医院が分かるようになっているのか。
事務局	歯科医師会ホームページに掲載されている歯科医院を紹介しているが、なかなか啓発が進められていないのが現状。歯科医師会と連携して実施していきたい。
松川委員	びわこ学園も歯科診療を実施していたと思う。
事務局	歯科医師会と協力し、必要な情報を掲載した歯科医院マップを作成することはいかがか。
戸梶委員	コラボにこにこ歯科保健事業で、同様の課題が挙げられ、ホームページに情報を掲載してもらったことがある。一方で、障害の特性は様々で、一律に『診ます』と文字や写真として掲載して書くことは難しい」と歯科医から言われたことがあり、現状が精いっぱいではないかという印象がある。
岡本会長	インターネット上に歯科医院の情報があっても、たどり着けないという人もいると思う。紙で渡せるものがあるといいと思う。また、周知がもっと必要。 受診の可否を明記するのが難しいところもあるが、歯科医師会守山地区と行政の懇談会（2月24日開催予定）で、委員の要望として挙げていき、行政がバックアップする形でマップ作製することなどは実施できると思う。ニーズをアンケート調査し、実現可能な部分から実施していくことは出来るのではないかと思います。
岡本会長	今後の方針に記載部分で、オーラルフレイルについてなどの意見はあるか。

兼松委員	オーラルフレイル対策については、ケアマネジャーだけに頼るような体制ではなく、受診できない人、往診を断る人へのアプローチ方法を考えなくてはいけない。オーラルフレイル対策になかなか取り組めない小さな事業所との連携等を協議会で検討していきたい。
------	---

(2) 令和4年度の実施結果と令和5年度の実施予定について

事務局	資料3、資料4に基づき説明
岡本会長	50歳のすこやか歯科健診の無料化については、年度途中でも可能であれば実施してほしい。
事務局	新市長へ主要事業を説明する機会がある為、その際にしっかりと説明していく。
松川委員	障害者児へ配付予定のチラシは、受診可能な歯科医院の一覧を掲載するのか。
事務局	受診可能な歯科医院の一覧に加えて、口腔ケアの必要性や大切さ、ケアの方法などを記載したチラシを配付予定。
事務局	これをもって、本日の会議を閉会する。 また、3月31日をもって、任期が満了となる。次年度は、次期計画を策定し、歯科保健の推進を行う予定。